

道写協

北海道写真協会

事務局 ■札幌市中央区大通西3丁目6道新文化事業社内
 011-210-5735(直通) 011-207-3939(FAX)
<http://www.dosyakyu.org/>

第125号

支部長会議(総会)報告

5月18日(日)午前9時30分、北海道新聞社会議室において、平成26年度支部長会議が開催されました。会議には全道から21支部長が参加し、武藤省吾会長より第61回写真道展の概要と会友奨励賞選考の方向性が話され、引き続き北海道新聞社事業センター・事業委員の若林直樹氏より、写真道展の成果と期待について報告と挨拶がありました。その後、全道各支部長及び出席者の自己紹介があった後、議長に追分支部の澤田孝夫氏が選出され議事に入りました。

一、事業報告(本郷会務委員)

①各委員会、会議報告(大平事務局長)
 写真協会会員の拡大と支部活動の活性化について。支部例会作品フォトコンテストの実施と内容の具体化。3年毎発行の「北海道写真協会会員名簿」の作成(8月末)。
 第61回・62回の写真道展実行委員の委嘱(実行委員長)山下智、森哲、中野潤子、本郷正利、中野芳生、藤井恵子、森田悦、阿部悦子、宮川恵子、坪川輝子、瀧野邦保、大平博雄、山本隆晟、佐藤寿美子、五東建夫、奈良美弥子(以上16名)。第61回写真道展審査委員長に中野潤子氏(札幌)。第32回学生写真道展委員長に、斉藤ただし氏(苫小牧)。

②第61回写真道展の報告

山下智・写真道展実行委員長
 公募出品数は5,703点で昨年の第60回展を上回る応募となった。出品者は一般応募者が58%と依然として支部会員を超えている。インクジェットによる出品数は全応募の75%となった。学生写真道展は、応募総数1,033点と3年連続1,000点を超える出品数となった。

③事業報告(大平事務局長)

道展巡回展は札幌を皮切りに全道13会場で開催。審査委員の派遣5支部、年度賞盾の授与も14支部(予算執行分)となり例年通り実績となった。また、学生写真道展は函館支部協力による広報活動によって応募数が維持された。支部例会コンテストは11支部、69名158点の出品で、支部賞、1位(札幌)、2位(室蘭)、3位(釧路)の結果となった。他に個人賞1位から3位、入選が決まり支部長会議終了後表彰授与がされた。

二、決算報告(瀧野、阿部会務委員)

会員の減少傾向が続いており、会員数341名で収入額の落ち込みが顕著であるが、会員会友の会費値上げによる増収で対応できた。支出の費目毎の説明後、次年度繰越金が42万円となっているが、支部例会フォトコンテストの賞品代が含まれているためと説明があった。

▼第60回記念事業 決算報告(本郷副会長)

収入・支出決算額275万3,647円

(協会、道展会計積立200万円、道新協賛金30万円、会員会友出品料31万5,000円、一般会計8万8,000円、その他)①審査委員・会友・公募展、64万8,913円、②記念作品集、91万3,609円、③我が家の夏休みコンテスト24万3,601円、④審査・祝賀会・実行委員会、94万7,524円。当初一般会計持ち出し金を20万円と予定していたが、半分以上の支出で収まった。会計全般について、中野芳生監査委員より適正かつ正確に処理されている旨報告があった。

▼質疑 決算報告関係

決算報告の中に支部例会フォトコンテストの支出がなく、新年度予算から支出されるのはおかしい。決算額(予算)の支出内訳をもう少し詳細に明示してほしい。審査委員、会友の会費値上げの根拠に、道展関係の人員費用に必要との事であったが、決算額に反映されていない。

▼応答・フォトコンテストは今回初めての試み

で、景品代支出時点で監査が終了していたため、新年度払いとなった。支出内訳については、可能な範囲内で記載していく様改善していく。道展関係の人員費支出は、業務のどの部分をアルバイトに依頼するかを模索しつつ期限内に追われ1年経過した。今後の見通しがついたので新年度は軌道に乗って行ける。

三、事業計画(案)(大平事務局長)

第61回写真道展は道新ぎやらりーにおいて開催中、以後全道13会場を巡回する。審査委員の支部派遣(旅費)、支部年度賞は継続実施。第2回目となる支部例会フォトコンテストも11月締切として行うが、道写協会員に限り会友は応募できません(会友の例会参加は自由)前回同様、支部・個人表彰あり。第62回写真道展、第33回学生写真道展の応募は、平成27年2月1日(同年2月10日)、審査は同年2月28日(同年3月1日)に行う。

四、会計予算(案)瀧野、阿部会務委員

①収入は、道写協会員360名と見込み

審査委員51名、会友68名で予算を作成した。支出では、道展巡回展、支部年度賞盾、支部例会フォトコンテスト、道写協ニュース、道展業務アルバイト費用等々の支出を予定していると報告された。

②写真道展中間報告(坪川実行委員)

前回より応募者18名減となったものの前回展と同様な状況で推移している。しかしこの状況が続くとすれば、道展運営に障害が生じかねなく、会員の積極的応募について支部のご協力をお願いしたい。

五、写真道展審査委員会友の承認

・審査委員の承認(2名)上田正洋(苫小牧)、田本實(旭川)・会友の承認(4名)小泉和子(小樽)、吉仲功(帯広)、新庄友行(北見)、奈良美弥子(札幌)

六、参与、審査委員会友の退会

・道展参与の承認、伊藤重利(室蘭)
 ・退会者▽審査委員/平形秀哉(余市)
 △会友/澤田満起(札幌)大橋薫(札幌)
 月岡正明(室蘭)

七、写真道展巡回日程(福田会務委員)

全道13会場での巡回日程となっている。会場によっては搬出、搬入の日程に余裕がない処があるので、連絡を密に対処してほしい。
 ・質疑討論として、支部で道展巡回展を開催するにあたり、会場使用料が高く支部に大きな負担となっている。
 ・以前検討したブロック別開催は巡回展会場が減っていくデメリットがある。各市町村で会場費の減免規定があれば制度の活用してみたらどうか。

平成26年度議案全般に亘りおはかりし参加者全会一致で承認されました。最後に、澤田議長退任挨拶で支部長会議は終了致しました。支部長会議(総会)がスムーズに滞りなく進行されたことに感謝申し上げます。
 (文責・本郷正利)

例会の充実活性化を
—今年も実施—
「支部例会作品フォトコンテスト」

支部活動の基本である例会の活性化と写真技術の向上を促す「支部例会作品フォトコンテスト」を今年も実施します。
例会上位の作品を集める、支部の枠を超えたコンテストとなります。

初回の昨年は11支部、69名から158点の応募総数でした。

◎個人賞

- 1席 松本雅彦(札幌)影は楽しい。
 - 2席 林田定昭(釧路)帰路伴走・長澤剛(室蘭)波紋
 - 3席 清水孝(帯広)ひ孫・友広茂夫(岩見沢)雨上がり・大場宏道(苫小牧)とんぼ咲く
 - 入選 鳥海政史(室蘭)これでどうだ・畑忠幸(留萌)泣く・安田敏彦(札幌)次なる命へ・宗山和夫(函館)街角情景
- ◎支部賞
- 1位 札幌支部
 - 2位 室蘭支部
 - 3位 釧路支部

今年も支部長会議(総会)で承認された、「第2回支部例会作品フォトコンテスト」を

実施します。

- ・対象 各例会1〜3位入賞作品
- ・応募期間 5〜11月例会作品
- ・応募締め切り 11月30日(厳守)
- ・道写協会員に限りです。会友作品は応募できません(会友の例会参加は自由)
- ・入賞作品の道展応募はできません。
- ・個人表彰 1席1点(1万円)2席2点(5千円)3席3点(3千円)
- ・支部表彰 1位(2万円)2位(1万円)3位(5千円)

表彰は来年5月の支部長会議(総会)時に行う予定です。

―例会の回数を増やし内容の二層の充実を図りましょう



第1席 「影は楽しい」 (カラー) 松本雅彦(札幌)

私の一枚=随 想
(シリーズ-58)
審査会員
山下 智

歴史の証言者



写真は昭和58年、岩見沢高等養護学校を卒業する渡部ゆかりさんを撮った一枚です。卒業後上京したため、この日の撮影が最後となりましたが、彼女とは「ゆかりちゃん」で第28回写真道展大賞受賞以来の付き合いでした。

昭和55年に写真道展の第4部(社会福祉・医療)の題材を求めて円山競技場に立ち寄り、サリドマイド被害者のゆかりちゃんに出会ったのが最初です。会った印象は衝撃的なものでしたが、彼女の屈託のない明るさにとっても魅かれました。

彼女は、恵まれたとはいえない境遇にありながら優秀で明るく、素直で逞しさを備え持っていて、昭和56年が国際障害者年だったこともあって当時、新聞や雑誌によく登場する、ちよつと知られた存在だったのです。その頃、私はしっかりと写真観もなく無我夢中で撮っていた頃で、ゆかりちゃんを前に撮影意欲と撮ることのためらいの間で、いつも自問自答していたことを思い出します。

現在、彼女は障害関係団体などの理事等を務めるほか料理教室を主宰するなど、今でも新聞、雑誌、インターネット等に登場する著名人です。二度とあつてはならない歴史の証言者として、全国で講義、講演等で活躍している彼女に一期期とはいえ、お付き合いできたことを光栄に思い、得たものは財産になったと思っています。感謝。

新審査会員―私の抱負

後継者の育成に尽力したい



上田正洋
(苫小牧)

初入選から十数年、これまでネイチャーを主体に道展での入選、入賞を大きな目標に走り続けて参りました。この度は道展審査会員に推挙していただき感謝申し上げます。

今後は、審査員として必要な識見と、豊かな感性の向上に努め、微力ですが写真道展の発展と後継者の育成に、力を尽くしたいと思っております。

どうぞよろしくお願い致します。

道写協のさらなる発展を



田本 實
(旭川)

1996年道新文化センターで写真の基礎を学び、2年後旭川支部に入会しました。

私の写真人生で、道展大賞受賞や審査会員就任は大きな喜びとなりますが、同時にまた責任の重大さを痛感しております。

今迄の経験・体験を生かし、一瞬の映像表現の可能性に挑戦しながら、また審査する『心と眼』を養い、道写協のさらなる発展に貢献出来るよう誠心誠意努力していきたいと思っております。

▲ 支部探訪―美唄

■ 創設のころ

25〜26年以前には美唄市内にも複数のカメラ店がありました。このカメラ店を中心に活動していた3つの小規模な写真クラブが1つになって「北海道写真協会美唄支部」が誕生しました。

誕生当時の会員は20名程度でしたが、人口の減少と共に11名(女性1)になり、そのうえ高齢化も進んでいます。しかし写真に対する情熱は衰えていません。この3〜4年前から写真道展の入選者は複数になり、今年も入賞者も出ました。

毎月の例会で情報交換し、隔月の作品合評会(審査互選)で技術の向上とさらなる親睦を深めています。



美唄市民文化祭展示

支部長 後藤 英生

■ 支部の活動

◎ 月例会

毎月市の施設「バイオの里プラザ」で例会を行い、隔月に各自A4サイズ2枚を持ち寄り、作品合評会(審査互選)を年5回行い、その結果は年度賞として、新年の総会で本部から頂いた盾を授与しています。

◎ 支部写真展

年2回2週間開催、6月はA4サイズで50点程展示して市立郷土史料館特別展示室で開催し、入館者は100人位です。10月はA3サイズでアルテピアッツァ美唄市民ギャラリーで開催し、入場者は千人位です。一般の方にも多く見ていただいています。近年は全員出展で作品数も増えてきて楽しく行っています。

■ 市民の中へ

第30回支部写真展を記念して昨年10月にはアルテピアッツァ美唄市民ギャラリーで2会場を使用して盛大に行いました。

美唄市民文化祭にはA3サイズの作品を展示しました。市立病院、郵便局等から依頼があれば、ロビーでのミニ写真展等にも参加し多くの市民の方々に喜ばれています。

◎ 撮影会

市内撮影はモデル撮影会、未明公園の桜、宮島沼の渡り鳥、アルテピアッツァ美唄の彫刻、炭鉱遺産等で行なっています。市内には良い撮影場所が多くあります。もつと地元の魅力を深めた作品を作りたいと



浴衣モデルを囲む撮影会

考えています。

市外撮影会は年1回バスを貸切つて、家族も参加するなごやかな日帰り旅行で会員の親睦を深めています。

事務局からのお知らせ

■ 事務局担当者の変更



秋庭彰徳
☎011-241-5161
(道新文化事業社)

2年振りの事務局担当です。

写真道展は、60年以上の歴史がある公募展です。優れた作品を、より多くの皆様に応募いただけるよう、事務局として、さらに努力してゆきます。よろしくお願い致します。

支部例会成績

札 幌 支部長 山本隆晟

- ▽4月例会(18日) 岩井直樹道新写真部長選考)
 - ①今明美
 - ②城伊志勝
 - ③原慎子
 - ④安田敏彦
 - ⑤水谷芳雄
 - ⑥砂澤一彦
 - ⑦村上和子
 - ⑧大久保真
 - ⑨笈川浩一
 - ⑩赤羽東平
- ▽5月例会(16日) 武藤省吾審査会員選考)
 - ①藤田万里子
 - ②山形典夫
 - ③斐田祥健
 - ④香取征子
 - ⑤田中稔
 - ⑥澤田一夫
 - ⑦原慎子
 - ⑧小賀野京子
 - ⑨千葉久
 - ⑩村上和子
- ▽6月例会(20日) 長谷川純一先生選考)
 - ①藤田万里子
 - ②林繁造
 - ③笈川浩一
 - ④安田敏彦
 - ⑤今明美
 - ⑥澤田一夫
 - ⑦寺地栄一
 - ⑧原慎子
 - ⑨松本雅彦
 - ⑩田中稔
- ▽7月例会(18日) 森田稔審査会員選考)
 - ①斐田祥健
 - ②山形典夫
 - ③今明美
 - ④城伊志勝
 - ⑤小賀野京子
 - ⑥原慎子
 - ⑦木全正樹
 - ⑧林繁造
 - ⑨貝沼正雄
 - ⑩三橋和雄

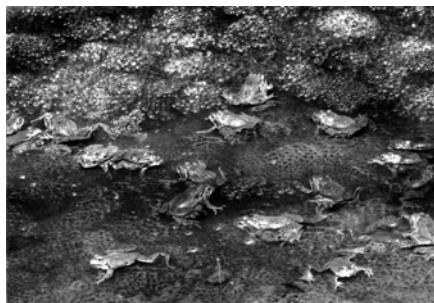
旭 川 支部長 馬場和美

- ▽4月例会(10日) 志賀芳彦審査会員選考)
 - ①伊藤勝利
 - ②細川貞子
 - ③三本芳男
 - ④森田正義
 - (入選)白鳥敏昭
 - 田中昭一
 - 細川貞子
 - 森田正義
 - 小山満
 - 早坂藤男
- ▽5月例会(8日) 田村健太郎審査会員選考)
 - ①④小山満
 - ②田中昭一
 - ③⑤白鳥敏昭
 (特選)①④早坂藤男 小山満 吉田祥子 菅原清弘
 (入選)早坂藤男 小山満 吉田祥子 菅原清弘
 池田政人 田中昭一 伊藤勝利
- ▽6月例会(12日) 福田光男審査会員選考)
 - ①阿部三重子
 - ②④白鳥敏昭
 - ③小山満
 - ⑤田中昭一
 - (入選)小山満 阿部三重子 伊藤勝利
 - 三本芳男 高崎章子 白田忠雄
- ▽7月例会(10日) 志賀芳彦審査会員選考)
 - (特選)①田中昭一
 - ②佐藤敏雅
 - ③細川貞子
 - ④森田正義
 - ⑤阿部三重子
 - (入選)白田忠雄 早坂藤男 森田正義 三本芳男 伊藤勝利

三 笠 支部長 伊藤修身

- ▽5月例会(30日) 審査互選)
 - ①澤田住子
 - ②伊藤修身
 - ③⑥金武紀雄
 - ④⑤古平文男
 - ③川原民也

釧 路 支部長 岡本雄毅



▽5月例会(8日) 奥野時夫審査会員選考)

- ①長尾芳文
- ②水辺のにぎわい
- ③北構善三郎
- ④林田定昭
- ⑤坂正彦
- ⑥越田名昇
- ⑦越田太郎

 5月例会 1位「水辺のにぎわい」(カラー) 長尾芳文
 7月例会(10日) 工藤二男審査会員選考)

- ①北構善三郎
- ②林田定昭
- ③長尾芳文
- ④桶谷駿矢
- ⑤松坂正彦
- ⑥中川ミエ子

小 樽 支部長 川原静雄



▽5月例会(14日) 瀧野邦保審査会員選考)

- ①高橋省三
- ②散歩道
- ③一條周
- ④嵯峨秋雄
- ⑤小泉和子
- ⑥成沢克朗
- ⑦白石純
- ⑧松居秀昭

 5月例会 1位「散歩道」(カラー) 高橋省三

余 市 支部長 金子勝彦

- ▽5月例会(25日) 審査互選)
 - ①④谷橋準一
 - ②風の後
 - ③⑤石岡誠三
 - ⑥⑦丹野光雄
 - ⑧⑨後藤芳江
 - ⑩金子勝彦
 - ⑪⑫谷橋誠子
 - ⑬⑭⑮



5月例会 1位「風の後」(カラー) 谷橋準一

- ▽6月例会(15日) 審査互選)
 - ①丹野光雄
 - ②⑧塩野謙造
 - ③⑥谷橋準一
 - ④⑤⑨美濃英則
 - ⑦⑩石岡誠三
 - ⑪金子勝彦
 - ⑫⑬谷橋誠子
- ▽7月例会(12日) 審査互選)
 - ①④石岡誠三
 - ②④谷橋準一
 - ③⑦丹野光雄
 - ⑤⑥谷橋誠子
 - ⑦⑧塩野謙造

恵 庭 支部長 西澤 實

- ▽5月例会(10日) 審査互選)
 - ①会員外
 - ②村井正人
 - ③会員外
 - ④小坂橋勝一
 - ④加藤憲秋
 - ④吉村登美子
 - ⑦佐野ミヨ
 - ⑦五東建夫
 - ⑦山下支朗
- ▽6月例会(7日) 審査互選)
 - ①会員外
 - ②目黒健一
 - ③吉村登美子
 - ④今在義弘
 - ④五東建夫
 - ④加藤憲秋
 - ⑦佐野ミヨ
 - ⑦吉村剛
 - ⑩上藤徹也
- ▽7月例会(14日) 加賀谷重雄審査会員選考)
 - ①田中康夫
 - 「お馬さんにチューされた」
 - ②古村登美子
 - ③会員外
 - ④目黒健一
 - ⑤上藤徹也
 - ⑥服部健治
 - ⑦会員外
 - ⑧加藤憲秋
 - ⑨佐野ミヨ
 - ⑩五東建夫



7月例会 1位「お馬さんにチューされた」(カラー) 田中康夫

室 蘭 支部長 佐々木 昇

- ▽3月例会(24日) 中西勉審査会員選考)
 - ①田村謙次
 - ②山田しげき
 - ③森三津雄
 - ③伊東克巳
 - ③佐藤俊晴
 - (入選)田村謙次 山田しげき 佐藤俊晴 長澤剛 三浦和希
- ▽5月例会(23日) 浪岡和雄審査会員選考)
 - ①高木妙子
 - ②長澤剛
 - ③成田正利
 - ③鳥海政史
 - ③多田逸三
 - (入選)田村謙次 山田しげき 玉手睦子 鳥海政史 多田逸三 佐藤俊晴

留 萌 支部長 崎出恒夫

- ▽4月例会(13日) 審査互選)
 - ①②松葉師正
 - ③川上正巳
 - ④高山亮太
 - ⑤本田光
- ▽5月例会(11日) 審査互選)
 - ①本田光
 - ②③川上正巳
 - ④④畑忠幸
- ▽6月例会(8日) 審査互選)
 - ①⑤澤岡政江
 - ①④加藤美佳
 - ②④川上正巳
 - ③本田光
 - ④⑤松葉師正
- ▽7月例会(13日) 審査互選)
 - ①澤岡政江
 - ②工藤勝
 - ③高山亮太
 - ④⑤畑忠幸
 平成25年年度賞
 「北海道新聞社賞」川上正巳
 「北海道写真協会賞」澤岡政江

岩 見 沢 支部長 尾崎 和男

- ▽3月例会(5日) 審査互選)
 - ①木村克巳
 - ②⑥友広茂夫
 - ②鈴木佳夫
 - ②水上孝子
 - ⑤松田市郎
- ▽5月例会(7日) 審査互選)
 - ①鈴木佳夫
 - ②沢田行子
 - ③山崎正義
 - ④榎野紘一
 - ④友広茂夫
 - ⑥木村克巳

栗 山 支部長 黒田 幸則

- ▽6月例会(17日) 山田浩会友選考)
 - ①黒田幸則
 - ②齋藤優子
 - ③中島武士
 - (入選)齋藤優子 黒田幸則

編集後記

例会成績は、紙面の都合で二位の写真のみ掲載しておりますので、ご了承ください。次号は12月を予定しております。 森田